

【担当教官名】 澤井 セイ子	対象学年	1	対象学科	健康
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要及び学習目標】

<概略>

日常生活に関する研究の視点をふまえて、身近な日常生活、特に私生活領域において展開される家族・個人の日常的な生活様態の特質を明らかにする。私生活領域における生活主体と生活資源との関係性を投影する日常的な生活様態の変遷について構造的に把握する。さらに、現代の日常的な生活の営みのあり方について考える

<学習目標>

身近な日常生活の営み、特に自由裁量しうる私生活領域を中核とする生活の営みについて、具体的に、多面的・分析的に、時空間的に、理解する。

現代の身近な日常生活の営みのあり方について、主体的・分析的かつ統合的に考える

回数	学習の主題	学習の内容	学習方法
	I 生活のイメージ	・自らの生活に対するイメージを明らかにする	①講義が中心となる ②コミュニケーション・ペーパーを活用する
	II 生活研究の視点	・アメリカ・ホーム・エコノミックスの生活研究の推移から生活研究の視点を明らかにする	
	III 生活様態の特質	・生活の原初的な構造から生活活動を考察し、生活様態の特質を把握する	
	IV 生活様態の変容	・生活様態の時空間的な推移について、日常生活の営みにみる生活主体と生活客体との関係性から考察する	
	V 日常生活の営みのあり方	・現代の日常生活の営みのあり方を考える手掛かりの一つとして、文化・伝統・因習を通してみる男女の関係性を VTR から考察する ・自らの生活のあり方を明らかにする	

【評価方法】

①コミュニケーション・ペーパー 60% ②期末試験 25% ③出席 15%

【履修上の留意点】

- ①「日常生活の営みとは、何か」「生活者」とは、誰か」等について具体的に考えながら、積極的に受講してください。
- ②自らの生活体験を客観的に直視して、生活の営みの多様性について、時空間的に考えてください。

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	なし			
参考書	必要に応じ教室にて紹介する			
その他(プリント等)	教室にて、資料を配付する			